

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した飯能市の取組について

1 デジタル田園都市国家構想交付金「デジタル実装タイプ」(国庫補助金)について

デジタル田園都市国家構想交付金は、デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、各地方公共団体の意欲的な取組を支援する交付金です。

交付金のメニューのうち「デジタル実装タイプ」は、デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援するものであり、4つのタイプに区分されています。

飯能市が今回交付決定を受けた「タイプ1」は、他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組を支援するものであり、埼玉県では41団体、83件が採択されました。

2 飯能市の採択事業

飯能市で採択された4事業の概要は以下のとおりです。

(1) デジタル地域通貨導入による地域経済活性化事業

地域内経済とコミュニティの持続的な活性化を図るために、デジタル地域通貨(デジタルクーポン)を本格的に導入するもので、新たに赤ちゃんスマイルクーポン、健康づくりインセンティブ事業に導入します。

また、DXを推進するために専門的な知見をいただくアドバイザーを活用します。

- 事業費(補正予算計上額:アドバイザーに係る経費)1,000千円(うち交付金454千円)

その他、当初予算分(デジタルクーポンに係る経費)については、交付金861千円を財源振替します。

(2) 公開型GIS整備事業

現在運用している統合型GISで整備しているデータを利便性の高い形で市民に公開することで、市民・事業者等がデータ利活用しやすい環境を整備するとともに、窓口閲覧等における問合せ時間や来庁機会等の利用者負担を軽減し、市民サービスの向上を図ります。

併せて、市のデジタル基盤であるご当地アプリと連携し、更なる市民の利便性の向上を図ります。

- 事業費(補正予算計上額)6,439千円(うち交付金2,927千円)

(3) 福祉総合相談 A I 活用事業

市民の多様な福祉課題に対応するため、自立相談支援窓口において包括的に相談に応じ、内容に応じて関係する機関へつなぐ総合相談体制の確立に向けて、音声認識やデータ分析技術等の A I を活用します。

市民にとって分かりやすく、一つの場所で気軽に相談できる窓口の実現を目指します。

○ 事業費（補正予算計上額） 4, 7 2 9 千円（うち交付金 2, 1 4 9 千円）

(4) 「便利でやさしい窓口」の実現

市民目線に立った行政手続のデジタル化を図り、マイナンバーカードやスマートフォン等を活用した「書かない」、「行かない」、「待たない」窓口を可能な部分から実施していきます。

市民課待合フロアにコンビニ交付と同様の証明書発行機能を持つマルチコピー機を設置するとともに、市民課窓口の番号発券機に混雑緩和システムを導入し、市民にとって、便利でやさしい窓口の実現を目指します。

○ 事業費（補正予算計上額） 7, 7 3 2 千円（うち交付金 3, 4 7 8 千円）